

冬気もよやく和み、春の自然が一気に活動を始める中、3月は四旬節と復活祭の準備の期間です。

復活の喜びのメッセージは、女性によってもたらされました。その足取りは、はやる心をおさえきれず、小走りになっていました。弟子たちが復活の主と出会った記事が読まれていきます。私たち一人ひとは、この偉大な出来事を宣べ伝えるために派遣されています。初代教会から日曜日は「主の日」と呼ばれ、大切にされてきました。日曜日は、1年中「主の日」と呼ばれ、毎週主の復活を記念しますが、復活の主日はこの主日の頂点、祝日中の祝日です。キリストの復活こそ、私たちの信仰の源であり、この出来事は福音書によると、週のはじめの日、つまり日曜日におこったとされています。



復活を伝えるとき、伝統的な思想があります。復活は生きておられる神の力のあらわれです。「神は生きている者たちの神なのです」。

キリストが復活しなかったのなら、
わたしたちの宣教は無駄であるし、
あなたがたの信仰も無駄です。(コリント 1 15.14)

復活は終末的出来事であり、それがイエスの復活で、あのイエスの中に実現されました。イエスの復活の主役は、イエスを復活させた神とイエスご自身。人間の側からは、ペトロ、ヨハネを中心にする弟子たちと、マグダラのマリアをはじめとする女性たちです。復活を伝える伝承にはいくつかありますが、主の復活のメッセージを弟子の視点で見るときに、私たちと主との出会いはいっそう深められることでしょう。イエスの十字架と復活の出来事が、私にとって意味あることになるでしょう。



3月の主な典礼・ミサ時刻

日	曜	典礼暦	担当
3	日	四旬節第3主日 当教会出身聖職者・修道者のために祈る日 P11 キリストの受難をしのぶ	8:40 十字架の道行 9:00 ミサ 先読み:高塚 第1:本田 第2:間野 答唱詩編:安藤/多田 オルガン:
10	日	四旬節第4主日 司祭と召出を求めるために祈る日 P11 キリストの受難をしのぶ	8:40 十字架の道行 9:00 ミサ 先読み:多田 第1:トウイハン 第2:西川薫 答唱詩編:三上夫妻 オルガン:
17	日	四旬節第5主日 病者と洗礼志願者ために祈る日 P11 キリストの受難をしのぶ	8:40 十字架の道行 9:00 ミサ 先読み:高塚 第1:安藤 第2:本田 答唱詩編:間野/高塚 オルガン:
24	日	受難の主日(枝の主日)	9:00 ミサ 先読み:多田 第1:西川薫 第2:トウイハン 答唱詩編:三上夫妻 オルガン:
28	木	聖木曜日(主の晩さん)	19:00 ミサ
29	金	聖金曜日(主の受難)大斎・小斎	19:00 ミサ
30	土	聖土曜日(復活徹夜祭)	19:00 ミサ
31	日	復活の主日 アレルヤの祈り開始 P13 キリストの復活を祝う	9:00 ミサ 先読み:高塚 第1:高塚 第2:安藤 答唱詩編:間野/多田 オルガン:

◆平日のミサ 月曜日～金曜日 17:00、土曜日 10:00

◆今月の霊名記念日の方…おめでとうございます(敬称略)

○砂川教会

9日 聖フランシスカ(ローマ)修道女 西村京子

◆お知らせ

- ・ロザリオ会は冬季(11~3月)夜間の交通安全を考慮してお休みします
- ・毎週水曜日 10:00~ 聖書に親しむ会を実施しています
- ・四旬節の期間中 四旬節愛の献金

花当番	
30日(土)	安藤

◆幼稚園関連

- ・4日(月) 保育参観
- ・11日(月) 地震避難訓練
- ・15日(金) 第74回卒園式
- ・18日(月) 2023年度修了式

神様、どこにいるの？



子供はささやいた：「神さま、私に話して下さい」。すぐ、木の枝からヒバリは綺麗な声で鳴いたが子供はその鳴き声を聞いていても神の声だと知らなかった。

子供が怒るように「神様、話して下さい、僕に！」雷鳴が空の雲から大きな音を出して鳴った。しかし、子供はそれも神の声だと思わなかった。



子供は周りを見て、言った：「神様、私に御顔を見せて下さい！」そしてすぐに星が夕空に明るく輝いた。しかし、子供はその星は神の顔だと気づきませんでした。

子供はまた叫んだ：「神さま、一つの奇跡を見せて下さい！」その時木の芽が出て生命が生まれたが、子供はその生命を奇跡として認めなかった。



そこで子供は絶望して叫んだ：「神さま、あなたはここいると解る為に僕の顔に触れて下さい！」神様は蝶となり天から下ってすぐ子供に触れた。しかし子供は蝶を追い払って、神様が触れてくれたと解らずに歩いていた。

(Ravindra Kumar Karnani)

